



(第十二回卒業)
同窓会長 本間仁一郎

昨年九月の総会で会長という大役をおおせつかり、今まで同窓会員であるというだけだった私がどう思ってもどきを感じております。幸いにも役員・学校事務局の大変なお骨折りによりまして、ここに同窓会報第2号を発行する運びとなりました。私は母校である新穂中学校も来年創立五十周年を迎えることにな



新穂中学校長 高野正也

新中同窓会報

行
新穂中学校同窓会
事務局

縦と横の絆を

同窓会の活動は、卒業生相互の縦と横の心の絆を強める活動であると言えます。

毎年、お盆近くになるとあちこちで新穂中卒業生による同期会が開かれているということを耳にします。

中学時代の仲間と思い出を語り、近況を交換し合うことは、お互いの元気の確認という意味もあって喜ばしく、これからも人に強めていってほしい活動です。

一方、各年度間の縦の交流もぜひ盛んにしてほしいと思います。新穂中は来年度創立50周年を迎え、卒業生も五五〇〇名を越えます。以後、全国各地で活躍する同窓生が、学年

く、これからも人いに強めていってほしい活動です。卒業生一人一人は同期という横軸と、先輩後輩という縦軸との交点に自分が位置しているということを自覚して、母校との接触や支援、同窓生との交流を図っていただきたいと願っています。

中学校は、校舎も体育館も校庭も

すっかり新しくなって、学校の歴史をしのばせるものは数少なくなってしまった。

体育館裏に築かれた石垣、前庭に

移植された珍樹タラヨウ（多羅葉）

を初めてとする記念樹、歴史の節

目々々に先輩達が願いをこめて造つ

られた像像や青年の像などは、新穂中の歴史をこれからも語り継ぐものでしよう。

これらを共に育ててきた母校の心の絆を、これからも益々大事にして、この

五年が、縦と横の絆の更なる目

覚の年になるよう願つております。

新中50周年記念

平成8年

ハチテンイチマル

来年の8・10(土)新中へ集合!

50組の合同同級会開催

新穂中学校が来年創立50周年を迎えることになりました。そこで同窓生が一堂に会しての合同同級会を計画しています。親子・夫婦ともども、また一般の方も是非参加を!

記念事業内容 (只今内容検討中)

◇記念式典	◇講演会	(新中体育館)
◇記念祝賀会	◇イベント	(新中グラウンド)
◇記念誌発行	◇記念碑等建立	



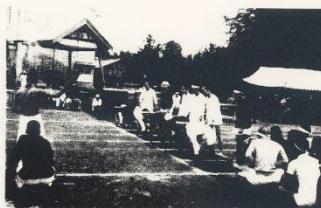
新穂中学校50年間あれこれ

昭22	創立開校式
23	教室床一部落下
24	PTA結成式
25	同窓会設立
26	新校舎落成
27	校内放送実施
28	体育館落成
〃	豪雨・洪水
29	農舎棟上
30	上俵開き
31	図書館・理科室落成
32	県卓球大会優勝
33	PTA石垣作業
34	新星学園分校設立
35	給食至落成
36	大雨洪水臨時休校
37	青牛の像除幕
39	新潟地震被害僅少
〃	新星学園分校全焼
40	トキ愛護会長感謝状
41	学校給食部大臣表彰
42	20周年式典
43	20周年記念あけはの像除幕
44	プール完成
45	中庭造園工事
46	学校実習田畠刈り
47	学校無人化
48	男生徒長髪許可
49	駐車場・テニスコート新設
50	PTA県表彰
51	30周年式典
52	グラウンド拡張竣工
53	大野川ダム竣工式参列
54	女子制服新デザインとなる
55	バスケットボール県大会2位
56	ソフトボール地区大会3位
57	ベルマーク収集開始
58	青少年劇場公演
59	駅伝部門市初優勝
60	生徒用トイレ洗漱トイレに
61	学校経営研究会
62	体育館工事
63	読書感想全国大会
平・1(64)	
2	生徒会「あいさつ運動実施」
3	新校舎建築着工
4	新校舎完成式
5	新体育館完成
6	駅伝部門市会優勝
7	ソフトテニス地区大会3位



昭和59年10月 駅伝都市初優勝

二つは、日本全国から集まつたいろいろな人たちを見て、全く新しい所で知らぬ人が豊かに生きているということを実感できたことです。あの頃は父に学んでいたが、もん想を書ききつかけになつたのは、父の仕事に影響していいたという事実でした。いい賞を受賞したから嬉しいというのではなく、もっとやる気満々だからわーと湧いて出るような興味、一人の人間として嬉しいと感じた新中時代の私の財産ともいえる心の満足を想い出しました。



昭和32年10月 運動会

タイムスリップ
第七回卒業 錦織和子

第七回卒業 錦織和子

そして翌年体育館が落成し、その人さきの高さに驚きました。又、一階部分が位置する舞台側に照明機材が置かれ、そんな舞台で私の級は女性だけで演劇上演し、感激で身体が震えました。その会員も、それはなく淋しく思います。でも現生徒たちは行き交う人々に挨拶を交すと聞きました。こんな中学校を私は誇りに思います。

昭和三十六年
当時の雑感

今も昔も
白球を追う

第一回卒業 石井幸男

今も昔も
白球を追う

第十回卒業 石井幸男

あの日も一舉への悪戯球から始まつた。相手チームの足を躊躇する余り内野守備が浮き足立つてしまつた。今年の渡辺技術大校中戦を観て、想い出した。「あの日と同じだ。」と、何をしようともうまいくい日と、何をやつて来て来る。それでも、悲ひれず必死で白球を追う。仲間でそれをかいはい台、勝ち合し合う。「一つ勝って喜び、一つ負けで「惜しがる。あれから三十年子供たちは毎年同じ様な想い出を胸に集りつて行つたのだろう。そんな君達に栄光あれ。うございます。

新穗中学校開校五十年、おめでと



平成6年9月 中国よりトキを迎える

『僕は野鳥のレンジ
ヤード』の読書感
想文の思い出

第四十回

に走ったことで、向かい風の中走っても押し戻されたこと、堤根でダッシュ、走り、試走、大木山古日朝の誓い等、莘莘^{（さざなみ）}と書かれたことは、確かに、顧問の敵でもなく、人間味ある中川茂也先生の「ノーブル」と共にオーバーラップしてきました。

私の中学時代は塾に始まり駿英会に終わったと言つても過言ではありません。駿英で学んだことは沢山あります。しかし、自分の自分を支えていたのは、やはり、家庭でした。

これが日頃の私でしてしま
る。東洋の太陽がキンキンにふり注ぐ日、
アーチで遊んでいた人達を横目に走って
いましたが、向かい風の中走って
いたときに押しかけたこと、夏場
のみ新穂ダムの往復・堤壁でのダック
シュー、試走、大木古日朝の観い等で、芝生
しかったことはばかりが、顧問の敵なく
く、人間味ある中川茂也先生の「ノリ
」と共にオーバーラップしてきました。
私の中学時代は駄馬に始まり駄馬に終
に終わったと言つても過言ではあら
ません。駄馬で学んだことは沢山あ
りましたが、今の自分の力を支えている
すばらしい思い出です。

『僕は野鳥のレンジヤーダ』の読書感想文の思い出 第四十一回卒業近辺牧子



昭和38年5月

新しいグラウンド完成

平成八年度は五年
周年記念事業を終え、

女子走り高跳び　男子三種アーチ
入賞することができました。



洋縣のみなさん
ありがとうございます

7月31日から8月4日まで中国洋縣交流事業団の一員として中国訪問されました。新穂、そして佐渡の代表として行くということで少し緊し、不安もたくさんありましたが、今こうして無事に帰ってくることができて本当によかったです。

中国では、西安の博物館を見学したり、いろいろなところへ行ったしましたが、私が一番印象に残ったことは洋縣の学校の友達との交流でした。

洋縣に着きバスから降りると、学校の校門の前から2,000人以上の人たちが花を持ったり、楽器を弾いたりして私達を歓迎してくれました。それは何とも言えないくらいうれしくて、とても感動しました。

そして、交流会では中国の踊りや歌を披露してくれたり、私達と一緒に踊ってくれたりしました。私達の発表も「理解してくれた」と通訳

方から聞き、とてもうれしかったです。その後、洋県の友達や学校の生たちなどと昼食を食べているとき、高校生の人と英語やジェスチャーを使っていろいろお話をしました。言葉が通じなくてちゃんとコミュニケーションがとれたのでとても楽しかったです。私達が帰ろうとするとき、洋県の中学生たちが遙に空の方の手で手を振ってくれました。彼らの笑顔がとても印象的でした。

この洋縣の中学生が私達に自分の住所の書いてあるホストカードをプレゼントしてくれたり、声をかけてくれたりして本当にうれしかったです。今度、新穎の友達と一緒に手紙を書いてみようと思っています。

した。このことを日本中のたくさんの人たちに教えてあげ、中国との交流をもっともっと深めたいです。また、こんな機会があったらぜひ参りたいです。

最後に、洋縣のみなさんありがとうございました。

新穂中在校生便り

中国洋縣を訪ねて...

—中国洋縣交流事業団—

西安·華清池

先輩諸氏のご理解ご協力の賜と
感謝し、体育関係の更なる活躍
を期待するものであります。

今年三月で中学校の卒業生も
五七〇名となり村内はもとよ
り、全国各地で活躍されている
お話を聞きましたが、今回会報発
行に当りその様子一部と会報を

二世誕生の喜び、そして三世へ

3年
本多桂子

今年1月、中国の洋縣からトキの友友、洋洋が私達の住む新穂村にやって来ました。以前は佐渡の空をたくさん飛んでいたトキも、今ではトキ保護センターの人々の努力もむなしく、日本産のトキは「キン」ただ一羽だけとなっていました。そんな中での友友と洋洋の来日には、いろいろな人々の期待がよせられました。一番の期待、そして不安をよせていたのは、トキ保護センターの人々でした。今回の友友、洋洋来日には洋縣から「席さん」という飼育係の方も一緒に来てくれました。席さんは、トキ二世誕生の心強いパートナーとなってくれました。そんな席さんが加わり、二羽のトキは順調にトキ保護センターにもなれ念願の卵を生みました。5月21日、ついにその中の一つが孵化し、待望の二世が誕生しました。この喜びは佐渡島内だけでなく、全国にも広がりました。うれしいことに、5月23日には立ち上がるまでになり、連日テレビで放送されていました。

私達よりも、席さん、近辺さんをはじめとする保護センターの人や、二世誕生に携わってきた人々が一番喜ばれたことでしょう。トキ二世誕生おめでとうございます。
卵が生まれ無事に孵化することができたのも、一生懸命世話を下さったみなさんのおかげです。私達にすばらしい感動をありがとうございました。特に、席さんは自分の家族と離れ、なれない日本での生活を寂しさと緊張の中での過ごされたことでしょう。そんな中で、日本中の願いをかなえるため頑張って下さいました。とてもうれしいことです。

トキは日中友好のあかいです。中国に帰っても「トキの野生復帰」のため、トキの世話を頑張って下さい。そして、いつか佐渡の空にトキがたくさん飛ぶことを願っています。



新中國黨會報

発行
新穂中学校
同窓会事務局
印刷
新穂印刷

○周年を迎えることになり、こちらの方もPTAを中心に、記念行事等を計画中ということを聞き及んでいます。



小さな家族の熱烈歓迎

川上真澄

に校舎移転、平成二年から五年にかけ約十一億四千万円を投じ、

更なる飛躍を
願つて



去る一九九六年(平成八年)当時のP.T.A.が中心となり大きな学校創立五十周年の記念事業を展開して以来はや五年。ということは今年が学校創立五十五周年……。運々と少し筆が進まない中、そんなこと漫然と書いておきます。お手元に持つてある紙に格調高いいる空き会長の後藤でございます。空き会長なる組織なさは、自分にとって無縁の存在と思っていたのですが、昭和二十六年現在地の藤野が原

二十一世紀の
出発にあたり

新穂中学校長 堀田岩男

第5号



おいでいただきたいと思います。
さて、学校教育も平成十四年度（二〇〇二年）より新学習指導要領の実施、完全小学校遇五日、新学習指導要領が始まります。この新学習指導要領では「総合的な学習の時間」という制度が取り入れられ、自ら学び自ら考える力の育成、体験的な学習や心の教育を地域と一緒につなげて進めていくための準備をしていくところです。一方、完全小学校校員週・五日制は、校教育関係と連携を図りながら生徒の健全育成を進めたいと考えています。

合って、一生涯に努力する
生徒が同盟会員として皆様の仲間に入れるよう、戦員と保護者、
そして地域の皆様とともにあります。同盟会員の皆様にはお近くを通られましたら是非お立ち寄り頂き、ご指導いただければ幸いです。六〇〇名に及ぶ同盟会員のご健
康とお幸せをお祈り致します。

りした。多くの駆走が山盛りで出てきた。みんな親切にしてくれた。など、洋県の人達の素振りは、自然の豊かさなどを聞いていました。

平成十一年六月十六日から十九日まで、中國の洋県から友好交流団一行十七名、大人十人（男八、女二）、子供七人（男二、女五）が、私たちふるさとの精神を訪れるに来ました。その際に、より正統な交流をしたいとの村の考え方で、子供たちのホームステイ受入先を探していたことから、洋県の人達に恩返しをし、少しでも日本の交流

の身に染みて分かっているとして、気配り、心配りで家族をサポートしていく。長女は最初消極的でしたが、小学生同士で女性ということで、彼女の出発頗る疎遠となりました。ピア引いたり、花火をしたり、呑み合ったり、一緒に入ったり、すり減らすなど、バジヤマをこれまでました。主人は中国語書を片手に、彼女たちの事項に答えたり、また、取つて佐渡観光に随行

「ツバメイチエン」と叫んでもよし。國からもったトキのお年は十一羽も誕生しました。今年は十七羽となになりました。私たちのふるさとで、村にトキが乱舞する姿を眺めるとともに、新しい家族交際文化の発展に貢献する機会となりました。小さな家族の子供たちの夢、未来が現れる羽ばたいて欲しいと願っています。

平成十年に中国から友友洋洋が新穂村に送られてきて、優優が誕生した平成十一年五月二十一日、私たちの手もと新穂村は大変な祝賀ムードでした。日本でも嬉しい歓喜にわきました。その年の七日三十一日から八月四日まで新穂村の中国洋洋県交流団の員として、主人と長男が参加しました。長男から「洋県の飲迎は、子供が中心に約〇〇〇人の人々が熱烈歓迎の横断幕を作り、笛や太鼓などで出迎えてくれた。学校とでの交流会では、英語で話しあう事ができた。洋県のセンター

お役に立てればと考え、出でて立つた。五
夢岩(十歳・女)さん、李季(十歳・女)
(十二歳・女)さんをお受けたところとしま
した。お二人とも丁寧で、私達家族にすぐ
に溶け込んできました。お受けするにしては
一泊二日で、夕食は新種村の宿で、朝食は
主催の歓迎会で能楽の里で送
りました。我が家に来てからでは、軽い
食事の用意と食事の用意の違いで、何を
一歩胸に踏まないで下ろしました。
長男は英語を使って日中友好
を国ろうとしていましたが、
小学生一人ということで出来ぬことはほんんどありませんでした。

するなどし、心の底から小さな天使の父親として頑張つてくれました。祖母は家の掃除係の心の底からのものでなしを担当し、日本の生け花とお茶碗で迎えてくれました。家族は新種村や洋県のような〇〇〇〇人の熱烈歓迎まではいきませんでしたが、それそれの役割を十分にやってくれました。八月十九日、二人の天使は佐渡汽船に見送り一人の私達家族一人一人と握手をし、「アイチエン」、「ツアイチエ」など何度も繰り返し、涙しながら佐渡への三泊四日の思い出を持って船に乗り込みました。

母校を訪ねて

浜名 キヌヨ (旧姓 和田)

教育実習を終えて

本間香奈子

したが、そういった生徒の素直な反応もまた私を嬉しくさせてくれました。実習は緊張や慣れないことの連続で、とても体力が必要なものでしたが、辛いとかやめたいとか思わずには済まされ

同窓会からのお手

○同窓会名簿について
　　同窓会名簿についての会員の整理を行つて、ます。各クラスでの会員等で名簿を作成したと
き、住所を移転したときは、一部を同窓会
事務局に送付するをお願いします。
また、会員登録の連絡のために事務局で名
簿を開闢出来ますので、交流の一助にしてく
ださい。

● 同窓会五十周年記念誌はお持ちですか？
「新穗中学の五十年」の歩みを記念事業として取り組み、記念誌を発行しました。

■お問い合わせは…
電 ト九五二一〇一〇六
　佐渡郡新穂村瓜生屋七一九
　新穂中学校
　新穂中学校同窓会事務局
　電話〇一五九二一〇一〇

お
願
FAX

二家庭でこ

故郷の便りと共に卒業されたご家族の方々に送つていただければ幸いです。

頃です。

作文が手のところへ帰集後記と言う難題に出くわして戸惑っています。新穂中が新校舎になる前、思い出に残そうということで旧校舎をビデオ撮影しました。体育館に飾られて

いる絵画、中一の時の担任猪俣先生の作品と聞きました。同窓生のみなさんで思い出多い学び舎について語り合えたらと思います。今朝の会報をもとにしたところ、ご参考まで

中にもかかわらず、原稿依頼を快くお引き受けいただいた方々にお礼申し上げます。同窓会役員も新メンバーが就任し、新穂中同窓会

九は後藤会長を船長に出港いたしました。同
窓会員の協力をお願いして編集後記といった
します。
(永井記)



卷之三

北信越大会に出場して

野球部主將 齊藤 侑馬

七月五日、初出場という緊張の中、全日本少年軟式野球北信越大会が始まりました。初戦は福井代表の光陽中クラブでした。

た。思えばレギュラーの大半は少年野球時代負け野球部で佐渡地区全ての大会で優勝し、下越新田地区大会では三位となり何かと期待されたが決まりでした。当時コチラの一人として指導していましたが、とにかく野球が好きで学校の事と雨天でグラウンドが使用できない以外は毎日練習をしていましたが印象に残っています。そしたら少年野球でうつながりもあって、今ままでよくお話し



トキは佐渡の顔、村の顔

近辻 宏帰

北條
建大
新穂中学校

● 同窓会からのおしらせ
同窓会名簿について
同窓会では会員の名簿の整理を行っています
北條陸大(新橋中学校教師)
南藤建大(新橋中学校教諭)

■お問い合わせは…

佐渡郡新地村瓜生屋七一九
新地中学校内
新地中学校同窓会事務局
電話〇二五九一二二一〇
FAX〇二五九一二二一三二

お願い
ご家庭でこの会報を読まれまし
故郷の便りと共に、卒業されたご家庭
に送つていただければ幸いです。

編集後記

新中同窓会報

毎日、遅くまで取り組んだ練習や、近差競走での試合会を勝ち取った際の喜び等での苦労を乗り越えてきた北信越大会。この大会で、大舞台の露骨な運営や試合を見る事ができ、自分達や、また後輩達にとってもこれからためにとてもいい経験ができたと思います。

県大会出場を目指してスタートした自分達が春県で優勝し、北信越大会に出場する事ができたのも、指導してくださった中部先生をはじめ保護者の皆様や地域の方々の声援や支援のおかけだと思います。ありがとうございました。

がして、覚醒してまいりました。
よく聞くと、土キの鳴き声に着仕で、
を聞かれます。その都度、鳥が好きだった
中学時代から鳥少年で、ブンチョウやカナリ
など色々な飼鳥を飼育繁殖させることに熱
いたこと。高専生になると野鳥に 관심をも
たれ、高校大学と生物クラブに所属して野鳥の
研究に参加。日本野鳥の会（東京文部会）、（一
本鳥類保護連盟の鳥類保護活動に今でい
ンティアとしてお手伝いを続けていまし
んな経験で、監修者として紹介され、67年5月
教育委員会嘱託として佐渡に赴任しま
来36年間、トキ保護繁殖事業に携り、本
未、新潟県を定年退職いたしました。
話題休止。佐渡には専門学校、短大、レ

新中野球部の活躍を振り返って

加藤
圭一



ありません。進学、就職のため一度は佐渡を離れる子弟も少なくありません。佐渡出身と知る以前はよく「佐渡おけさ」と聞れる、と質問されることがあります。佐渡トキ保護センターでは、これらと聞きましても、「佐渡トキ保護センター」が、現存40羽を飼育していることです。連口トキの森公園には、現存40羽を飼育する観光客や帰省客が多数訪れてトキを観察していきます。これからは佐渡、特に新穂村（知名度の高い村の一つ）出身ですと、「おけさ」と代わってトキ

佐渡を象徴して表現している素敵な生き物です。

るらしい伝統文化の「茶道」、「花道」、「盆栽」など、これらは、日本人の心を育むために、古くから残されてきたものだ。これらは、日本人の心を育むために、古くから残されてきたものだ。これらは、日本人の心を育むために、古くから残されてきたものだ。

活躍めざましい 新穂中

生徒会長 清水 悠平



新穂中は部活動も盛んです。それでも活動に活動しています。

休閑梅雨明け

市議会議員 川上 龍一

(長歎)



見え隠れる社会、我々の日常の社会への振る舞いは「教育」の新穂中学校で教師としているように思えてします。

ありますがある先生が転任する時の挨拶で「私はもう一度、この新穂中学校で教育をしたい。必ず」といふ言葉で、この新穂中学校で教員としているように思えてします。

副会長 本間 健太 (22-2664)

顧問 堀 隆行 (新穂中学校校長)

会長 遠近秀 (22-2664)

幹事 佐藤淳一 (22-2464)

石井賀久江 (22-2664)

大木芦雅人 (新穂中学校教師)

評議員

菅原 金子 雅子 (22-2844)

小杉 浩治 (22-2650)

会計 柳瀬篤子 (22-2650)

丹下 淳子 (22-2650)

鹿野 伸一 (22-2464)

西川 金子 雅子 (22-2844)

井下 森田 正広 (22-2844)

井上 西川 浩司 (22-2650)

井上 新穂 本間 英一 (22-2650)

丹野寺 安達 真弓 (22-2650)

下大野 土屋 利剛 (22-2796)

西川 秀敏 (22-2341)

上大野 左京 淳一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2844)

舟下 森井 雄二 (22-2844)

武井 安達 真弓 (22-2844)

下野山 引野 伸一 (22-2650)

山本 伸一 (22-2650)

高橋 伸一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2650)

大木芦雅人 (新穂中学校教師)

評議員

菅原 金子 雅子 (22-2844)

小杉 浩治 (22-2650)

会計 柳瀬篤子 (22-2650)

丹下 淳子 (22-2650)

鹿野 伸一 (22-2464)

西川 金子 雅子 (22-2844)

井下 新穂 本間 英一 (22-2650)

丹野寺 安達 真弓 (22-2650)

下大野 土屋 利剛 (22-2796)

西川 秀敏 (22-2341)

上大野 左京 淳一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2844)

舟下 森井 雄二 (22-2844)

武井 安達 真弓 (22-2844)

下野山 引野 伸一 (22-2650)

山本 伸一 (22-2650)

高橋 伸一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2650)

大木芦雅人 (新穂中学校教師)

評議員

菅原 金子 雅子 (22-2844)

小杉 浩治 (22-2650)

会計 柳瀬篤子 (22-2650)

丹下 淳子 (22-2650)

鹿野 伸一 (22-2464)

西川 金子 雅子 (22-2844)

井下 新穂 本間 英一 (22-2650)

丹野寺 安達 真弓 (22-2650)

下大野 土屋 利剛 (22-2796)

西川 秀敏 (22-2341)

上大野 左京 淳一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2844)

舟下 森井 雄二 (22-2844)

武井 安達 真弓 (22-2844)

下野山 引野 伸一 (22-2650)

山本 伸一 (22-2650)

高橋 伸一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2650)

大木芦雅人 (新穂中学校教師)

評議員

菅原 金子 雅子 (22-2844)

小杉 浩治 (22-2650)

会計 柳瀬篤子 (22-2650)

丹下 淳子 (22-2650)

鹿野 伸一 (22-2464)

西川 金子 雅子 (22-2844)

井下 新穂 本間 英一 (22-2650)

丹野寺 安達 真弓 (22-2650)

下大野 土屋 利剛 (22-2796)

西川 秀敏 (22-2341)

上大野 左京 淳一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2844)

舟下 森井 雄二 (22-2844)

武井 安達 真弓 (22-2844)

下野山 引野 伸一 (22-2650)

山本 伸一 (22-2650)

高橋 伸一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2650)

大木芦雅人 (新穂中学校教師)

評議員

菅原 金子 雅子 (22-2844)

小杉 浩治 (22-2650)

会計 柳瀬篤子 (22-2650)

丹下 淳子 (22-2650)

鹿野 伸一 (22-2464)

西川 金子 雅子 (22-2844)

井下 新穂 本間 英一 (22-2650)

丹野寺 安達 真弓 (22-2650)

下大野 土屋 利剛 (22-2796)

西川 秀敏 (22-2341)

上大野 左京 淳一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2844)

舟下 森井 雄二 (22-2844)

武井 安達 真弓 (22-2844)

下野山 引野 伸一 (22-2650)

山本 伸一 (22-2650)

高橋 伸一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2650)

大木芦雅人 (新穂中学校教師)

評議員

菅原 金子 雅子 (22-2844)

小杉 浩治 (22-2650)

会計 柳瀬篤子 (22-2650)

丹下 淳子 (22-2650)

鹿野 伸一 (22-2464)

西川 金子 雅子 (22-2844)

井下 新穂 本間 英一 (22-2650)

丹野寺 安達 真弓 (22-2650)

下大野 土屋 利剛 (22-2796)

西川 秀敏 (22-2341)

上大野 左京 淳一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2844)

舟下 森井 雄二 (22-2844)

武井 安達 真弓 (22-2844)

下野山 引野 伸一 (22-2650)

山本 伸一 (22-2650)

高橋 伸一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2650)

大木芦雅人 (新穂中学校教師)

評議員

菅原 金子 雅子 (22-2844)

小杉 浩治 (22-2650)

会計 柳瀬篤子 (22-2650)

丹下 淳子 (22-2650)

鹿野 伸一 (22-2464)

西川 金子 雅子 (22-2844)

井下 新穂 本間 英一 (22-2650)

丹野寺 安達 真弓 (22-2650)

下大野 土屋 利剛 (22-2796)

西川 秀敏 (22-2341)

上大野 左京 淳一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2844)

舟下 森井 雄二 (22-2844)

武井 安達 真弓 (22-2844)

下野山 引野 伸一 (22-2650)

山本 伸一 (22-2650)

高橋 伸一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2650)

大木芦雅人 (新穂中学校教師)

評議員

菅原 金子 雅子 (22-2844)

小杉 浩治 (22-2650)

会計 柳瀬篤子 (22-2650)

丹下 淳子 (22-2650)

鹿野 伸一 (22-2464)

西川 金子 雅子 (22-2844)

井下 新穂 本間 英一 (22-2650)

丹野寺 安達 真弓 (22-2650)

下大野 土屋 利剛 (22-2796)

西川 秀敏 (22-2341)

上大野 左京 淳一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2844)

舟下 森井 雄二 (22-2844)

武井 安達 真弓 (22-2844)

下野山 引野 伸一 (22-2650)

山本 伸一 (22-2650)

高橋 伸一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2650)

大木芦雅人 (新穂中学校教師)

評議員

菅原 金子 雅子 (22-2844)

小杉 浩治 (22-2650)

会計 柳瀬篤子 (22-2650)

丹下 淳子 (22-2650)

鹿野 伸一 (22-2464)

西川 金子 雅子 (22-2844)

井下 新穂 本間 英一 (22-2650)

丹野寺 安達 真弓 (22-2650)

下大野 土屋 利剛 (22-2796)

西川 秀敏 (22-2341)

上大野 左京 淳一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2844)

舟下 森井 雄二 (22-2844)

武井 安達 真弓 (22-2844)

下野山 引野 伸一 (22-2650)

山本 伸一 (22-2650)

高橋 伸一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2650)

大木芦雅人 (新穂中学校教師)

評議員

菅原 金子 雅子 (22-2844)

小杉 浩治 (22-2650)

会計 柳瀬篤子 (22-2650)

丹下 淳子 (22-2650)

鹿野 伸一 (22-2464)

西川 金子 雅子 (22-2844)

井下 新穂 本間 英一 (22-2650)

丹野寺 安達 真弓 (22-2650)

下大野 土屋 利剛 (22-2796)

西川 秀敏 (22-2341)

上大野 左京 淳一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2844)

舟下 森井 雄二 (22-2844)

武井 安達 真弓 (22-2844)

下野山 引野 伸一 (22-2650)

山本 伸一 (22-2650)

高橋 伸一 (22-2650)

鈴木 伸一 (22-2650)

新中國空会報



同窓會會長

月一這十七

新潟県中学校同窓会の目的は、おかれましても、日頃の頃より、校の発展のおかれます。同時に、同窓会の運営の責任を負うべき者として、会員の大任を仰せ付さりました。六千有余の会員を誇る新中同窓会は、創立六十六年の伝統ある母校に対する想いを、これまで単なる卒業生として、気軽にえていますが、その責任を二つあります。同窓会の活動は、報発行、入会式、学校訪問、行事委嘱等々、ありますが、会員皆様の情熱の糸つなぎ、母校の発展に寄与するところが目的と考えております。役員の方々並びに学校の先生方の力添えなど大きながらみでありますので、よろしくお願ひいたします。

ますか、卒業したのがついでに間
し懐かしいひとときを過ごしました。
次第です。中学校の同級会には、
ふるさとや恋愛や幼なじみに卒業
後の自分が色々と、年を経るにつ
れて懐恋の念と人生模様が合わさ
り不思議な雰囲気があります。
皆様の同級会は如何でしょうか。
今年はトキのひな誕生が全国
的に話題となりました。自然界
でのひな誕生は実に三十六年ぶ
りのことです。トキは羽は飛んで
とても無事誕立しました。ちなみに
、自然界での東立ちは二十八年
ぶりのこと(新穂は昔からトキ
と関係深い地域でこれまで多く
の方々トキ保護や野生復帰に携
わづきました)。関係者の皆様の
感慨はひとことひとこと拌察し
ます。小学生時に保護されたト
キの餌を自分で経験した身として
は、今後のトキとの共生がうまく
いくことを期待するものです。
同窓会の統一母校の发展は、
一世代を重ねるのと母校の发展は、
世代が連携してつてこそと思ひます。
トキの野生復帰の取組みと何や
ら同じことを感ずるのも感じます。
最後になりましたが、会報発
行に際し、懃く筆を執りましたが、
きまとよき様に厚く感謝いたし
ます。また、会員相互のつなが
りがいっそう深まりますことを
願つてやみません。

半世紀前のことから



前会長 末武正義(上新穂)

変わるもの 変わらないもの



新穂中学校長 市橋良主

新徳中学校の元校長、市橋良夫先生の肖像写真です。彼は黒い髪と眼鏡をかけており、白いシャツと黒いネクタイを着用しています。

窓会員の皆様からは、深い理解並びに力強いご支援をいたしております。ます。改めて厚く御礼申上げます。

そして今年度卒業式では、「RA IN BAN」—三色の虹—をスローガンに、生徒の個性・創造性等の発想を大切にした工夫ある取組を進めています。全ての原点である「あいさつ」を大切にすることを基盤に、校園トータルで大切にすることを

